審　査　の　結　果

１．令和３年度一般会計及び特別会計決算、その他関係書類は、審査した限りにおいて法令に適合し、かつ正確であると認められた。

２．各会計の歳入歳出の執行、収入支出の事務処理及び財産の管理については、おおむね適正になされていると認められた。

決　算　の　概　要

１．各会計の総括（別紙資料編：別表１－３参照）

令和３年度の各会計決算の総括は、次表のとおりである。

（単位：円）

区分 / 会計		予算現額	歳入決算額	歳出決算額	歳入歳出差引額	翌年度へ繰り越すべき財源	実質収支
一般会計		18,547,651,760	17,957,453,650	17,593,545,127	363,908,523	91,907,984	272,000,539
特別会計	国民健康保険	4,325,590,000	4,309,537,702	4,264,773,803	44,763,899	0	44,763,899
	後期高齢者医療	330,008,000	329,965,729	329,253,875	711,854	0	711,854
	土地区画整理事業	706,224,800	706,159,606	565,665,811	140,493,795	137,863,100	2,630,695
	小計	5,361,822,800	5,345,663,037	5,159,693,489	185,969,548	137,863,100	48,106,448
総決算額		23,909,474,560	23,303,116,687	22,753,238,616	549,878,071	229,771,084	320,106,987

歳入決算額23,303,116,687円、歳出決算額22,753,238,616円で歳入歳出差引額549,878,071円となり、前年度を262,319,412円上回る額である。翌年度に繰越すべき財源は229,771,084円で実質収支額320,106,987円の黒字となっている。

歳入決算額は、調定額に対し、収入率98.4％で23,303,116,687円が収入済額となっている。

また歳出決算額は、予算現額に対し、執行率95.2％で22,753,238,616円が支出済額であり、翌年度への繰越額は733,003,523円、不用額は423,232,421円となっている。